

## 「東海地震にそなえて ワンポイント・アドバイス」

### 19. 災害時の帰宅

もし昼間、勤務先で地震にあったらどうしますか？ 災害時には、全ての交通機関がとまるので、勤務先で

被災した場合、家に帰ることができない帰宅困難者が出ると言われています。

まず、勤務先から自宅までの正確な距離を知っておきましょう。たとえば、静岡から焼津までは13Km。時速

5Km の早足で歩いたとしても、2時間半かかります。しかし、建物が崩れたがれきの中を通らなければならない

ので、実際にはもっと時間がかかるでしょう。また、このような震災時には、最短ルートではなく、帰宅に適した

ルートを選ばなければいけません。そのようなルートを通ったほうが安全ですし、「帰宅支援ステーション」の

サービスが受けられます。



「帰宅支援ステーション」とは、自治体と協定を結ぶコンビニや外食チェーン店、

郵便局、ガソリンスタンドなどです。コンビニやスタンドに貼ってある「帰宅支援

ステーション」のステッカーが目印です。大規模地震の発生時には、このステッカーが

貼ってある店は、トイレや水道水、一時休憩、道路情報の提供などのサービスを行います。ガソリンスタンドの

場合は耐震構造になっているので、安全度が高いといわれています。

無事に自宅までたどり着けたとしても、そこに家族はいないかもしれません。まだ帰宅途中なのかもしれないし、

避難勧告が出ていて、自宅にはいられなかったのかもしれない。自分がそこから移動するときは、忘れずに、

「〇〇避難所にいます。」との張り紙をしておきましょう。